

2010年7月8日

各 位

オリックス株式会社
(コード番号 8591)
株式会社ユビテック
(コード番号 6662)

オリックスによるユビテック株式の取得について

～環境事業における技術革新・商品開発を推進～

本日、オリックス株式会社(本社:東京都港区、社長:梁瀬 行雄、以下「オリックス」)は、100%出資子会社の株式会社インターネット総合研究所(本社:東京都目黒区、代表:藤原 洋、以下「IRI」)との間で、IRI が保有する株式会社ユビテック(本社:東京都品川区、社長:荻野 司、以下「ユビテック」)の全株式 85,272 株(2010年6月30日現在の議決権所有割合 60.49%)を譲り受ける契約を締結しましたのでお知らせします。この結果、オリックスが保有するユビテックの株式は、現在の 0 株(同 0%)から 85,272 株(同 60.49%)となり、ユビテックの第1位株主となります。株式異動の効力発生日は7月14日を予定しています。

今回の株式取得は、ユビテックの強みである IT 技術をオリックスの環境事業と融合し、お客さまへより一層のサービス強化と事業基盤の拡大を図ることを目的としています。今後、オリックスからユビテックに役員を派遣する事も検討しています。

オリックスは現在、ESCO 事業、カーボンオフセット、バイオマス燃料の供給などの環境事業を手がけており、オリックスグループの営業基盤である自動車、不動産、IT などの分野で同事業の拡大・推進を図っています。一方、ユビテックは、グリーン IT プラットフォーム()の創生を目指し、カーソリューション事業、ビルソリューション事業、家ソリューション事業を今後の成長の柱としています。こうした両社が手がける事業におけるそれぞれの強みを生かし、まずは自動車、不動産、IT などの個別分野において省エネルギー化サービスを推進し、将来的にはこれらの個別サービスを複合的に組み合わせ、街や地域全体の環境負荷低減につながるサービスへビジネスの拡大を目指します。すでに、ユビテックはオリックス自動車とカーシェアリングシステムを共同開発するなど、具体的な実績も有しています。

オリックス、ユビテックの両社は、これまで以上に環境事業におけるお客さまの様々なニーズにお応えすべく技術革新・商品開発を推進し、お客さまを通じて環境負荷低減の活動に貢献してまいります。

グリーン IT プラットフォーム

ユビテックが推進するオフィスビル、交通、家、エネルギー発電施設等をすべてネットワーク化し、サーバーで一元管理することにより、街や地域全体の省エネルギー化を推進する取り組み

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

オリックス株式会社	広報部	池田・内田	: 03-5419-5102
株式会社ユビテック	管理本部	総務課	: 03-5487-5560